

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	川和高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 多様な分野でリーダーシップを発揮し、堅実に社会に貢献できる人材の育成をめざし、健やかな体、たくましい精神力及び思いやりを育む教育活動を展開する。
- 次世代のリーダーに求められる、自ら課題を発見し、他者と協働して解決する問題発見・解決能力や論理的思考力、答えのない問題に対応するための教科の見方・考え方を活用する総合的な思考力・判断力・表現力等を育成するよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を実施するなど、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 質の高い、きめ細やかな教育を提供するとともに、経済状況にかかわらず、資質・能力に優れ、努力する生徒の進路実現を支援する。
- 多様な人々と協働して創造的に課題解決する力を養うために、部活動など生徒の主体的な活動を推進する。
- 卒業後、各分野におけるリーダーとして活躍するために、知力・体力・精神力を磨くとともに、自立心と道徳心を育む教育を推進する。

3 計画策定時点での課題

- 令和4年度卒業生において国公立大24%、早慶上理23%、現役合格率86%という実績となっているが、引き続き生徒の第一志望への進学実現に向けて効果的な学習指導や進路指導に取り組む必要がある。
- グローバル教育や探究的な学習活動を推進し、幅広い視野で主体的に思考、判断、表現できる人材を育成する必要がある。
- 100%近い部活動加入率であることを踏まえ、「高い次元の文武両道」の実現に向けて、生徒を主体とした効果的・効率的な活動のあり方を考える必要がある。
- さまざまな理由で困難を抱える生徒に対する支援が必要である。
- 地域との協働をいっそう深め、生徒・職員・保護者等がともに地域社会の一員であるという自覚を高める必要がある。
- 学校運営協議会の効果的な運営や、保護者等との連携について工夫改善し、社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組をいっそう進める必要がある。
- 「働き方改革」の考え方や学習環境の老朽化等を踏まえ、持続可能で安全・安心な学校運営体制の構築に取り組む必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	【学力向上進学重点】 ・柔軟で効果的な教育課程の編成と運用により生徒の資質・能力を更に伸ばし、第一志望進学につなげる。 ・高度な課題解決力を育み、深い学びを実現する。 ・グローバル教育や探究的な学習活動を推進し生徒の視野を広げる。	・国公立大学への受験に対応できる教育課程編成と運用 ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、身に付ける資質・能力を明確にした主体的・対話的な授業改善研究 ・英語教育の充実、探究活動の充実
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	【高い次元の文武両道】 ・部活動や学校行事等を通して多様な人々と協働して創造的に課題解決する力を育てる。 ・誰もが自分らしく過ごすことのできる、安心・安全な学校づくりを進める。	・生徒との対話や保護者等との協働を重視した部活動や学校行事の運営 ・専門職や外部機関との連携による組織的な教育相談支援体制の充実
3	進路指導・支援	【進路実現】 ・一人ひとりの第一志望への進学を実現する。 ・将来、社会において生徒がそれぞれのよさを実現できるようキャリア発達を支援する。	・模擬試験等の有効活用と面談等の充実 ・補習・講習の拡充 ・大学や企業等との連携の推進 ・キャリア・パスポート等の効果的な運用
4	地域等との協働	【協働・連携】 ・地域社会の一員としての自覚を高める。 ・社会に開かれた教育課程の実現に向けて関係者との協働を推進する。	・地域との協働・連携について多様なあり方を工夫 ・学校運営協議会の効果的な運営 ・さまざまな場面での保護者等との協働・連携
5	学校管理 学校運営	【信頼】 ・持続可能な学校運営体制を構築する。 ・人権尊重の精神をはぐくみ、安全・安心な学校づくりを進める。	・業務体制の効率化や事業の見直し ・さまざまな場面における人権尊重の徹底 ・老朽化対策・安全対策の推進 ・事故・不祥事防止研修の実施